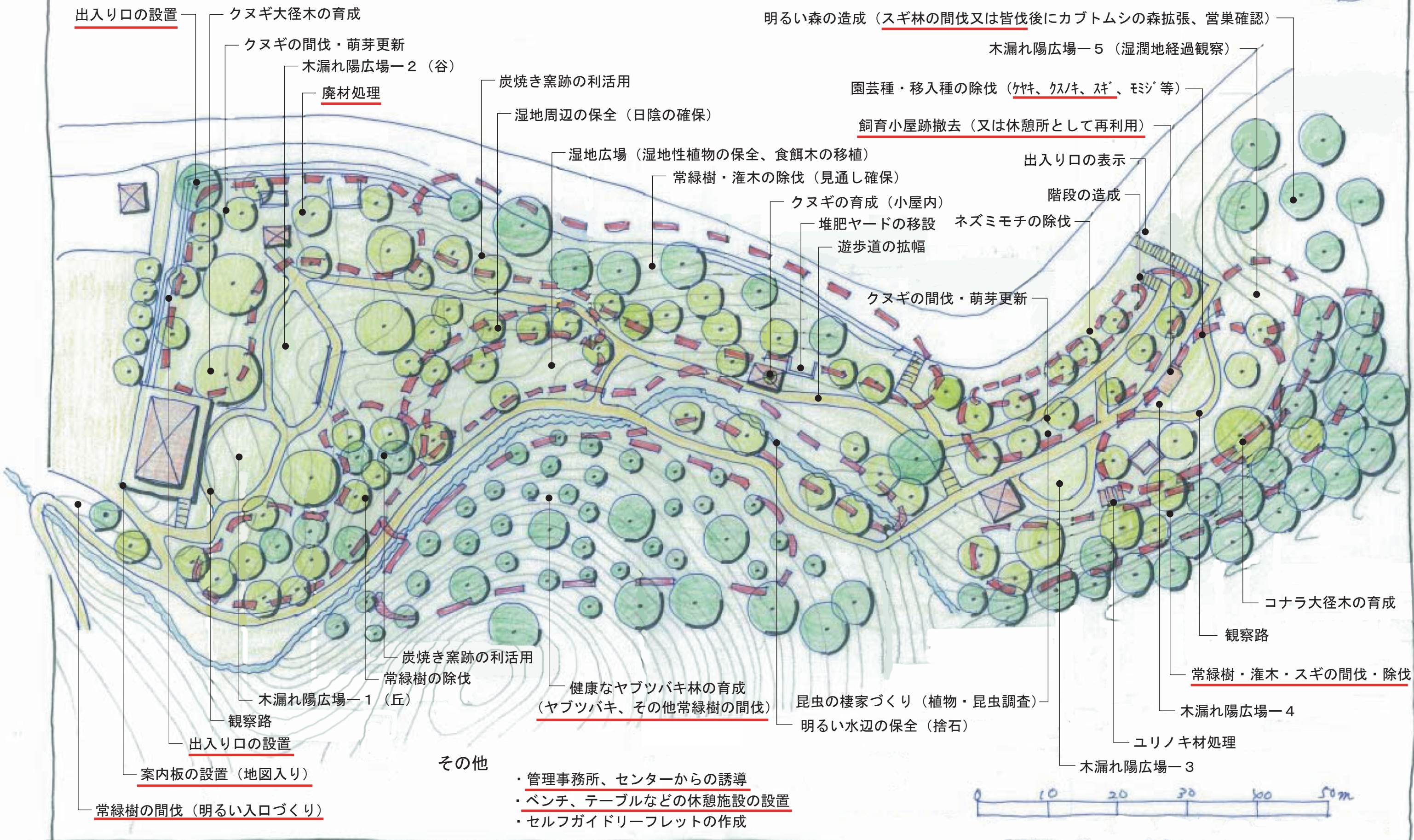


カブトムシの森 5 年保全計画図 (2010~2014)

基本理念：里山に代表される二次林の自然環境を復元し、カブトムシに象徴される昆虫などの多様な動植物が生息・観察できる森づくりを目指す。



出入口の設置

クヌギ大径木の育成

明るい森の造成 (スギ林の間伐又は皆伐後にカブトムシの森拡張、営巣確認)

クヌギの間伐・萌芽更新

木漏れ陽広場-5 (湿潤地経過観察)

木漏れ陽広場-2 (谷)

炭焼き窯跡の利活用

園芸種・移入種の除伐 (ヤナギ、クヌギ、スギ、モジ等)

廃材処理

湿地周辺の保全 (日陰の確保)

飼育小屋跡撤去 (又は休憩所として再利用)

湿地広場 (湿地性植物の保全、食餌木の移植)

出入口の表示

常緑樹・灌木の除伐 (見通し確保)

階段の造成

クヌギの育成 (小屋内)

堆肥ヤードの移設

遊歩道の拡幅

クヌギの間伐・萌芽更新

コナラ大径木の育成

観察路

常緑樹・灌木・スギの間伐・除伐

木漏れ陽広場-4

ユリノキ材処理

木漏れ陽広場-3

木漏れ陽広場-1 (丘)

観察路

出入口の設置

案内板の設置 (地図入り)

その他

- ・ 管理事務所、センターからの誘導
- ・ ベンチ、テーブルなどの休憩施設の設置
- ・ セルフガイドリーフレットの作成

常緑樹の間伐 (明るい入口づくり)

昆虫の棲家づくり (植物・昆虫調査)

明るい水辺の保全 (捨石)



※赤い下線は、管理事務所との協働による。